

## 高齢者見守り推進事業

### 【現状と課題】

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や人との交流の機会が減少し、高齢者においては、フレイル状態の悪化やそれに伴う新たな生活課題の出現により、不安や困り事を抱えている人の増加が懸念される。また、外部との接触の減少により、そうした不安や困っている状況を周囲に伝えることができず、問題の深刻化や孤立感の高まりにつながりやすい状況にある。

### 【目的】

市内在住の75歳以上の高齢者を対象に、安否確認を実施し、フレイル状態の悪化防止及び生活課題の解決を図る。

また、地域の民生委員児童委員と要援護高齢者とのつながりを促進し、身近に相談できる関係性を構築することにより、孤立感の解消を図る。

### 【事業の概要】

- 1 市内在住の75歳以上高齢者（施設入所者除く）に文書を送付し、民生委員児童委員による訪問希望の有無を返信にて確認する。
- 2 訪問希望のあった高齢者に、地域の民生委員児童委員が訪問する。
- 3 訪問後、本人の状況により必要な関係機関につなぐ。

### 【事業実施状況】

令和5年1月23日時点

	対象者数	回答者数	回答率	訪問を希望すると回答した人		
				人数	率	うち福祉票提出有
西脇地区	801人	478人	59.7%	32人	6.7%	23人
津万地区	846人	530人	62.6%	67人	12.6%	44人
日野地区	1,205人	758人	62.9%	51人	6.7%	34人
重春地区	1,003人	636人	63.4%	39人	6.1%	17人
野村地区	925人	616人	66.6%	38人	6.2%	19人
比延地区	708人	490人	69.2%	35人	7.1%	19人
芳田地区	283人	170人	60.1%	17人	10.0%	7人
黒田庄地区	1,249人	826人	66.1%	39人	4.7%	26人
合計	7,020人	4,504人	64.2%	318人	7.1%	189人